

もみじ



県立広島病院 ☎ 082-254-1818 (代)
〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

理念：患者さんの権利を尊重し、県民に信頼される病院をめざします。



連携医療機関のご紹介

今回は、『ゆめみなみ乳腺クリニック』の尾崎 慎治 院長先生です。



尾崎院長

ゆめみなみ乳腺クリニック

〒734-0007 広島市南区皆実町 5-10-26
電話 / 082-256-3733
院長 / 尾崎 慎治
診療科目 / 乳腺外科



外観

○開業に至る経緯について教えてください。

広島大学第2外科に入局、外科専門医を取得した後、乳腺診療の研鑽のため、亀田総合病院乳腺科で3年勤務し、乳腺専門医を取得しました。帰広後、広島大学病院に2年間勤務した後、ポストドクとして3年間留学し、その後は呉医療センターで5年間、県立広島病院で6年間、乳腺外科医として勤務し、令和7年6月に開業しました。

乳腺外科医を目指したきっかけは、手術・画像診断・手術・薬物療法という診断と治療のすべてのプロセスに関われることにやりがいを感じたからです。

○日常の診療で気を付けていることを教えてください。

患者さんと十分にお話をする事です。不安に思っていることを聞いたり、治療に伴う副作用対策などの情報提供を行っています。乳がん治療の薬剤の中には、重い副作用を起こすリスクがあるものもありますが、勤務医時代に経験したことが、開業医として勤務するようになってからも活かしていると思います。地域の乳腺疾患に対応する開業医として初期対応、適切なフォロー、乳がん患者さんの基幹病院への迅速な紹介・術後のケアなど、乳腺疾患について幅広く対応ができることが大切と考えています。

○貴院の診療内容について教えてください。

乳がんに限らず、乳腺症、乳腺腫瘍、非特異的な乳腺炎など、様々な乳腺の疾患に対応しています。その他、一般外科の処置、局所麻酔下での手術（日帰りでのCVポート造設、CVポート抜去、乳腺腫瘍摘出術）を行っています。

○県病院はどのようなところですか？

開業まで6年間勤務しており、いわばホームグラウンドのような病院です。多くの先生方にお世話になったのですが、どの科においても紹介から受診までの期間が短く、早期に診察、治療導入を行っていただけるといった印象です。



待合室

【取材後記】

大変穏やかな語り口のなかにも、基幹病院での重症の患者さんを診た臨床経験を活かし、地域で乳腺の異常を不安に思っている患者さんにとって、頼りになる医師であろうとする意気込みが伝わってきました。今後とも当院との連携を宜しくお願い致します。

県立広島病院からのお知らせ

県民公開講座

開催日 令和8年 3月22日(日) **時間** 13:00~15:00 (受付/12:00~) **場所** 広島県医師会館 201会議室及びZOOM開催 (広島市東区二葉の里3-2-3) **テーマ** ゲノムを知るともっと自分ができる！ **司会** ゲノム診療科 主任部長/土井 美帆子 **開会挨拶** 臨床研究検査科・病理診断科 主任部長/西阪 隆 **閉会挨拶** 生殖医療科 ゲノム診療科/原 鐵晃 **申込方法** 右の二次元コードからお申し込みください。 **問合せ先** 総務課管理係 ☎082-254-1818 (内線/4271:担当/安原) **参加無料** 参加申込が必要



当院HPをリニューアルいたしました!

令和8年2月16日より当院HPをリニューアルいたしました。TOPのURLは変更してありませんが、TOP以外のページをお気に入りやブックマークに登録いただいている場合は、お手数ですがTOPページから該当ページへアクセスをお願いいたします。



<https://hiroshima.hpho.jp/>

いつもの安心。もしもの備え。命を救い続けるための救急車更新へ

皆様のおかげで
目標金額達成
クラウドファンディング



目標金額達成の御礼とこれからのについて

皆様の温かいご寄附のおかげで、この度、目標金額 2,700 万円を達成することができました。また、ご寄附と共に寄せられた心温まる応援メッセージの数々は、職員一同の大きな励みとなっております。重ねて心より感謝申し上げます。

プロジェクト期間は残り約1か月ございますので、さらなる災害医療、救急医療に関する環境整備の充実を目指し、ネクストゴールの設定を検討しております。詳細が決まり次第、また活動報告にて新しい情報をお届けできればと思います。

引き続きご支援、ご声援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様から寄せられた応援コメント

- 新しい救急車が現場で働く皆様の安心と、多くの患者さんの「もしも」を支える力強いパートナーとなることを願っています。
- 災害時への対応や、地域医療に大きく貢献いただいていることで、安心して暮らせます。ありがとうございます。
- 県民の安全を守るために必要な機材です。災害だけでなく、スムーズな患者搬送にも活用でき、今後は提携した病院間で協働して速やかな搬送連携強化なども進められると良いですね！
- 多くの患者が救われるようになることを願っています！
- 命を救うためのプロジェクトの成功をお祈りいたします。

皆様ありがとうございます

募集は継続中です
よろしくお願
いいたします！



県立広島病院 レディーフォーQ

地域の命を守るために

— 当院DMATとDMATカーの役割 —

救急科 主任部長/世良 俊樹



当院DMAT隊員とDMATカー

大きな地震や豪雨、事故が起きたとき、最初の数十分で救える命が大きく変わることをご存じでしょうか。

当院には、そうした災害や大規模事故の現場にいち早く駆けつけ、医療を届ける“DMAT(災害派遣医療チーム)”があります。

DMATは、医師・看護師・医療スタッフで構成され、災害の「超急性期」と呼ばれる最も混乱する時期を中心に活動する専門チームです。当院は県内唯一の「基幹」災害拠点病院として、広島県内の18の災害拠点病院の指揮・調整役も担っており、現場の医療だけでなく、患者さんをどこへ運ぶか、どの病院が対応できるかといった「指令塔」の役割も果たしています。

これまで当院DMATは、広島市豪雨災害、西日本豪雨災害、熊本地震、そして近年では能登半島地震など、数多くの現場で活動してきました。倒壊の危険がある病院から入院患者さんを全員避難させたこともあり、災害医療は決して特別な話ではなく、「地域のいつもの暮らし」を守るための医療です。



2014年 広島市豪雨災害

2018年 西日本豪雨災害



全国から集まったDMATカー(消防救急車含む)
2025年能登半島地震

その活動を支えているのがDMATカーです。DMATカーは、医療機器や薬品を積み、悪路でも進める「走る医療拠点」です。現場では治療を始める場所となり、通信や指揮の中心にもなります。また災害時だけでなく、日常の救急医療でも、患者さんを他の病院へ安全に搬送するなど、地域医療を支える大切な役割を果たしています。

しかし、現在使用しているDMATカーは導入から10年以上が経過し、老朽化が進んでいます。修理を重ねながら使っていますが、災害時に「動かない」「十分な医療機器が積めない」という事態は許されません。災害は待ってくれないからこそ、確実に動く車が必要です。

そこで当院では、DMATカーを更新するためのクラウドファンディングを実施しています。この取り組みは、新しいことを始めるためではなく、これまで地域を守ってきた医療を、次の世代へつなぐためのものです。



当院から災害現場へ移動

患者さんを搬送中

皆さまからのご支援は「もしもの時」に誰かの命を守る力になります。どうか、地域の安心を支える一員として、当院DMATカーの更新にご協力ください。



歯科衛生士・歯科技工士からのメッセージ

当院では歯科衛生士が、患者さんのお口の健康を支える専門職として幅広く関わっています。歯科衛生士の役割は大きく分けて3つあります。一つ目は、歯科診療補助です。当院では、口腔外科疾患を中心とした診療や手術の準備・サポートを行っています。二つ目は、療養中のお口の状態を維持・改善することを目的とした指導や管理を行う歯科保健指導です。三つ目は、歯科疾患だけでなく全身的な合併症を防ぐために口腔衛生管理を実施する歯科予防処置です。これらに加え、病院歯科ならではの役割も担っています。お口の健康は全身の健康につながります。お口に関する困り事がありましたら、遠慮なくご相談ください。



歯科衛生士

歯科診療補助

周術期口腔機能管理

手術前後のお口の環境を整え、肺炎や手術創部などの感染リスク減少が目的です。また、放射線療法や化学療法によって起こるお口の副作用の重症化を防ぐ目的でも行っています。合併症や肺炎の発生が減少すると入院日数も減少します。



周術期口腔衛生管理

摂食嚥下チーム・栄養サポートチーム

チームの一員として、食べる・飲み込む機能がスムーズに働くようにお口の環境を整えます。スムーズな経口摂取は早期回復・早期退院につながります。



嚥下チームラウンド

多方面にわたる活動

緩和ケア病棟や救命救急センターに入室中の患者さんや大腿骨骨折・脳血管障害などで身動きが取れない患者さんのお口の管理は病室に伺って行っています。また、持病やお薬の影響によって地域の歯科医院での対応が困難な場合は当院で対応しており、その診療にも携わっています。

さらに、糖尿病と歯周病の関係性について理解を深めて頂くため、糖尿病教室などを通じた啓発活動にも取り組んでいます。



糖尿病教室

技工物製作部門

現在、当院における技工物製作の主な物は、医科手術や口腔外科処置に用いる装置や義歯製作及び義歯修理等があります。

- 手術の麻酔時に用いる歯を保護するマウスピース(プロテーゼ)
- がん等による骨や粘膜組織の欠損部分の機能回復する為の顎補綴義歯
- 外傷等による顎骨や歯列の骨折の整復に用いるシーネ
- 唇裂口蓋裂乳児の哺乳補助のマウスピース(Hotz床)
- 激しい歯軋りや食い縛り防止、舌保護の為の開口装置等



歯科技工士

患者さん一人ひとり、また一本一本の歯はどれも形や色が異なります。元の歯のような噛み心地や見た目を再現するのは大変ですが、安全で品質の高い技工物をこれからも提供していきます。